

最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出は3ヶ月連続で減少幅縮小～

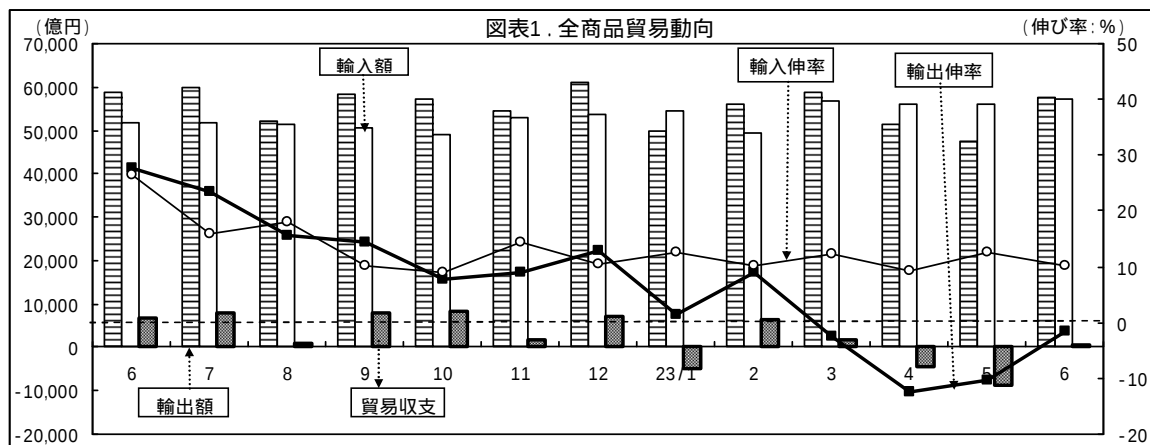
日本機械輸出組合 2011.8.18.

平成23年6月の機械輸出額は、3兆7,627億円、対前年同月比2.8%減と3ヶ月連続でマイナス幅を縮小した。これは、EU、中国がプラスに転じたこと、北米、NIES/ASAN、その他地域が減少幅を大幅に縮小させたこと、業種的には自動車が落込み幅を大幅に縮小したことなどが要因である。

7月については、1ドル＝80.4円と月間最高値を更新し、また営業日が1日少ないために、9.4%の大幅な円高減少要因となり、仮に7月の実質的伸び率を2.5%とすると6.9%減となる。しかし、本日の速報によれば、7月の全商品輸出額は3.3%減となり、実質的伸び率は6%増程度に拡大していることになる。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続マイナス幅減少、貿易収支は3ヶ月ぶりに黒字～

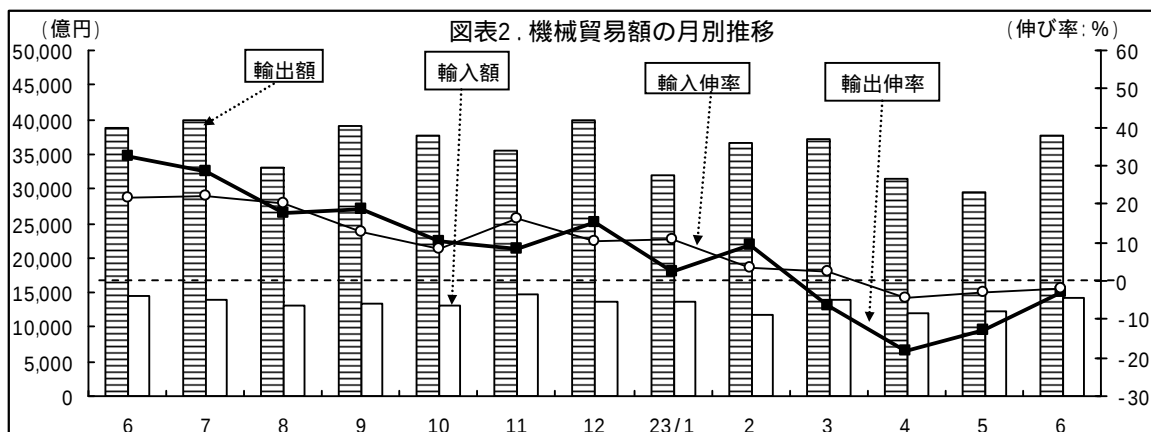
- 平成23年6月の全商品輸出額は5兆7,756億円、前年同月比(以下同じ)1.6%減とマイナス成長となったものの(5月10.4%減)3ヶ月連続で減少幅を縮小させ回復傾向を示した。これは、全輸出額の22%を占める一般機械(11%増)が好調であったこと、同じく22%の輸送用機器(10.5%減)、18%の電気機器(8.7%減)、鉄鋼等原料別製品等がマイナス幅を減少させたためである。
- 輸入額は5兆7,069億円、10.2%増(5月12.6%増)と18ヶ月連続の増加となった。これは、全輸入額の30%を占める原油等鉱物性燃料(25.5%増)、10%の化学製品(14.9%増)、10%の鉄鋼等原料別製品(9.6%増)等が増加したためである。
- この結果、伸び率は輸入が大幅増、輸出がマイナスとなったが、輸出額が輸入額より大きかったため、6月の貿易収支は686億円と3ヶ月ぶりに僅かな黒字となった。



2. 機械貿易動向

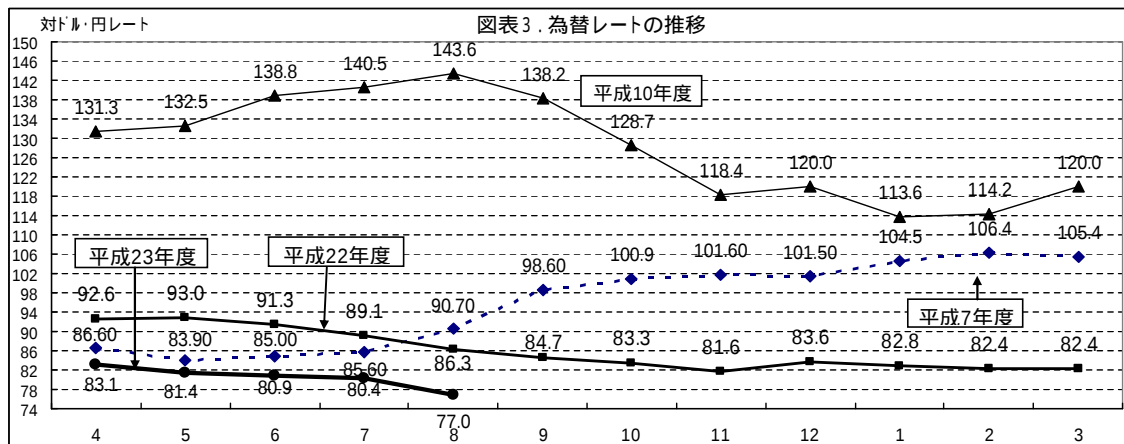
(1) 機械輸出入動向～機械輸出、機械輸入ともマイナス幅を縮小～

- 全商品輸出額の65%を占める6月の機械輸出額は3兆7,627億円、2.8%減と3ヶ月連続でマイナス幅を縮小させた(5月12.8%減)。この結果、輸出額の水準は、リーマンショック前の平成20年6月の78%にまで回復した(5月65%)。一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額も、1兆4,084億円、2.1%減と3ヶ月連続でマイナス幅を縮小させた(5月2.8%減)。輸入額の水準はリーマンショック以前の83.6%で、本年4月(4月79.9%、5月80.8%)以降連続で上昇した。



(2) 為替動向・営業日～6月の為替減少要因は5.3%減、7月は9.4%の大幅減少～

- ・6月は1ドル＝81円と月間最高値を更新し前年比11.4%の大幅な円高が続き、一方、対ユーロ＝115.9円では3.6%の円安に転換し、合わせて5.3%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年と同じであった。このため、6月の機械輸出は2.8%減であったが、実質伸び率は2.5%増とプラスに転じ、回復傾向を示している(5月11.8%減)。
- ・7月は1ドル＝80.4円と月間最高値を更新し続け前年比9.8%の大幅な円高が続き、一方、対ユーロ＝115.1円では3.5%の2ヶ月連続で円安となり、合わせて4.6%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年より1日少ないため4.8%の減少要因となり、合計9.4%減の大幅な円建減少要因となる。
- ・8月は、対ドルが現状の77円とすれば10.8%の大幅な円高が続き、また、対ユーロが現状の110円とすれば3ヶ月ぶりに1.9%の円高となり、合わせると5.6%減の為替減少要因となる。しかし、営業日が前年より1日多いので、4.5%の増加要因となり、合わせて1.1%の僅かな円建減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国はプラス、北米、NIES/ASEAN、その他は依然マイナスも回復の兆し～

・機械輸出のマイナス幅が縮小した地域的要因は、機械輸出額の12.8%を占めるEU向けが、全体の30%を占める自動車(1.1%増)が2ヶタ減から一転プラスに転じた他、産業機械(25.9%増)、分析・検査機(25.5%増)、白物家電(30.2%増)等が大きく増加し、10.5%増と3ヶ月ぶりにプラスの大幅増となったこと、次に、19%を占める中国向けが、全体の23%を占める半導体等製造装置等産業機械(18.5%増)、7%の光学機械(12.7%増)、工作機械、繊維機械が大幅増となり3.8%増と3ヶ月ぶりのプラスとなったこと。他方、機械輸出額の19%を占める北米向けも、輸出額の43%を占める自動車(24.2%減)の減少幅が減少し、産業機械、建設機械等大幅に増加したことにより9.5%減となったこと。

28%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けはフィリピン、香港、台湾、マレーシア、タイ、インドネシアがマイナスとなり、業種では、民生用電子機械、自動車大幅に減少し、7.7%減と6ヶ月連続のマイナスとなったこと。21%を占めるその他地域向けは、ロシア、アフリカ向けは高い伸びとなったが、中近東、大洋州が2ヶタの大幅な減少となり、機種では、全体の48%を占める自動車(4.6%減)や船舶、民生用電子機械等がマイナスとなったため、2.3%減となったこと、による。

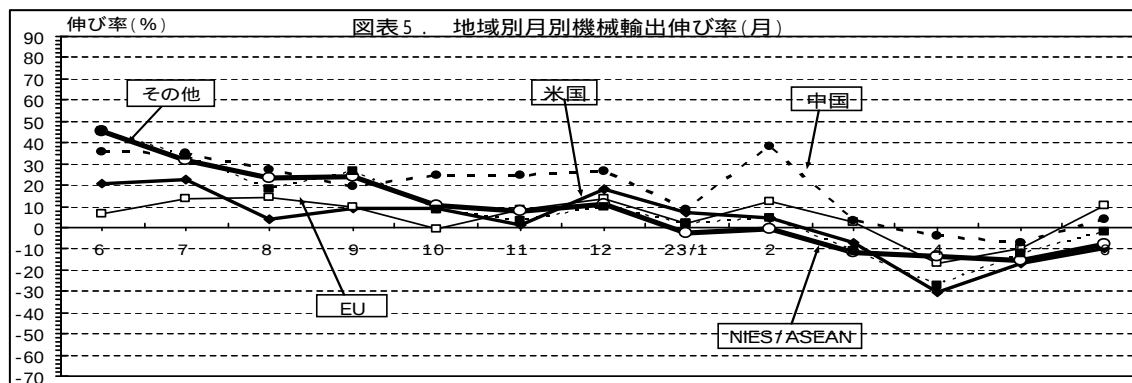
地域別では、リーマンショック以前の平成20年6月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超えたが、EU、その他地域向けは60%台、北米向けは70%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2011/4			2011/5			2011/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	31,310	▲ 18.3	100	29,398	▲ 12.8	100	37,627	▲ 2.8	100	0.79
北米	5,120	▲ 30.3	16.4	5,183	▲ 17.1	17.6	7,107	▲ 9.5	18.9	0.71
EU	4,007	▲ 17.0	12.8	3,918	▲ 9.5	13.3	4,820	10.5	12.8	0.65
NIES/ASEAN	9,772	▲ 13.7	31.2	8,560	▲ 15.3	29.1	10,626	▲ 7.7	28.2	0.88
中国	6,660	▲ 4.2	21.3	5,665	▲ 7.2	19.3	7,087	3.8	18.8	1.09
その他	5,751	▲ 27.1	18.4	6,071	▲ 12.3	20.7	7,987	▲ 2.3	21.2	0.67

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2011/3		2011/4		2011/5		2011/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,949	▲ 13.7	1,849	▲ 13.1	1,662	▲ 0.9	1,985	▲ 3.3
台湾	1,942	▲ 13.1	1,792	▲ 18.1	1,628	▲ 17.0	1,867	▲ 12.6
香港	1,759	▲ 10.2	1,569	▲ 15.6	1,337	▲ 27.1	1,658	▲ 19.4
タイ	1,571	▲ 8.9	1,533	▲ 2.2	1,248	▲ 10.2	1,560	▲ 4.5
シンガポール	924	▲ 27.9	934	▲ 16.8	770	▲ 10.4	1,108	▲ 11.4
インドネシア	635	▲ 25.1	648	▲ 17.3	571	▲ 26.4	837	▲ 1.9
マレーシア	786	▲ 3.2	712	▲ 15.4	662	▲ 11.9	816	▲ 7.4
フィリピン	423	▲ 17.4	415	▲ 26.5	416	▲ 24.2	432	▲ 20.6
ベトナム	281	▲ 9.7	284	▲ 3.2	223	▲ 17.0	323	▲ 4.0
その他地域								
中南米	2,799	▲ 13.4	2,349	▲ 8.3	2,426	▲ 7.8	2,729	▲ 8.7
中近東	1,342	▲ 33.1	647	▲ 52.8	798	▲ 35.0	1,332	▲ 20.4
大洋州	944	▲ 15.5	649	▲ 57.5	816	▲ 29.4	1,128	▲ 10.5
ロシア東欧等	1,152	▲ 14.6	858	▲ 12.7	968	▲ 3.3	1,335	▲ 24.0
アフリカ	832	▲ 15.0	640	▲ 27.3	607	▲ 1.2	823	▲ 22.1
インド	639	▲ 59.1	448	▲ 11.9	410	▲ 16.2	474	▲ 8.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19 業種中 11 業種がプラスとなり持ち直しの動き ~

・業種別では、全 19 業種中プラスとなったのが 11 業種で、前月より 4 業種増加し、マイナス業種を上回った。全体の約 30%を占め機械輸出を下支えする自動車は前月の大幅減から大きくマイナス幅を縮め、機械輸出の落込み幅の縮小に寄与した。また、工作機械、陸用内燃機、建設機械、ベアリング、繊維機械は2ケタの高い伸びを維持した。

一方、電子計算機、電子デバイス、通信機械、民生用電子機械、船舶、重電機械は依然マイナスが続くも全体的にマイナス幅を減少させた。

・この結果、リーマンショック以前の輸出額を超えているのは医療機械、ベアリング、船舶、陸用内燃機関、光学機械の 5 業種で、産業機械、工作機械、繊維機械は 90%台であるが、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、産業車両、自動車は 50 ~ 60%台に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円, %)

2011/4				2011/5				2011/6				対08/6 比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	6,296	▲ 47.9	20.1	自動車	6,844	▲ 31.7	23.3	自動車	11,131	▲ 11.2	29.6	0.66
産業機械	7,006	▲ 2.8	22.4	産業機械	6,345	▲ 4.7	21.6	産業機械	7,133	▲ 11.5	19.0	0.95
電子デバイス	2,941	▲ 19.2	9.4	電子デバイス	2,748	▲ 18.6	9.3	電子デバイス	3,021	▲ 17.3	8.0	0.76
船舶	2,100	▲ 7.4	6.7	船舶	1,829	▲ 1.3	6.2	船舶	2,187	▲ 6.3	5.8	1.16
軽電気機械	2,006	▲ 4.9	6.4	軽電気機械	1,676	▲ 14.2	5.7	軽電気機械	2,013	▲ 2.6	5.3	0.84
民生用電子機械	1,580	▲ 27.4	5.0	民生用電子機械	1,513	▲ 23.3	5.1	民生用電子機械	1,907	▲ 8.7	5.1	0.60
重電気機械	1,845	▲ 3.3	5.9	重電気機械	1,513	▲ 11.6	5.1	重電気機械	1,832	▲ 3.4	4.9	0.85
軽機械	1,242	▲ 0.7	4.0	軽機械	1,006	▲ 7.5	3.4	軽機械	1,251	▲ 3.5	3.3	0.72
光学機械	1,236	▲ 3.4	3.9	光学機械	1,197	▲ 3.7	4.1	光学機械	1,372	▲ 7.7	3.6	1.08
建設機械	929	▲ 5.2	3.0	建設機械	997	▲ 17.5	3.4	建設機械	1,239	▲ 17.2	3.3	0.80
工作機械	741	▲ 54.5	2.4	工作機械	671	▲ 42.3	2.3	工作機械	821	▲ 52.3	2.2	0.95
通信機械	448	▲ 19.7	1.4	通信機械	406	▲ 20.7	1.4	通信機械	507	▲ 12.2	1.3	0.57
電子計算機	394	▲ 35.7	1.3	電子計算機	384	▲ 28.7	1.3	電子計算機	490	▲ 24.9	1.3	0.51
ベアリング	418	▲ 16.7	1.3	ベアリング	359	▲ 13.2	1.2	ベアリング	425	▲ 14.3	1.1	1.18
陸用内燃機関	310	▲ 9.0	1.0	陸用内燃機関	339	▲ 11.8	1.2	陸用内燃機関	439	▲ 19.9	1.2	1.11
医療機械	287	▲ 3.5	0.9	医療機械	268	▲ 2.3	0.9	医療機械	328	▲ 1.7	0.9	1.27
繊維機械	253	▲ 44.6	0.8	繊維機械	206	▲ 16.2	0.7	繊維機械	222	▲ 13.3	0.6	0.93
農業機械	135	▲ 23.3	0.4	農業機械	126	▲ 18.2	0.4	農業機械	162	▲ 2.0	0.4	0.81
産業車両	103	▲ 7.1	0.3	産業車両	109	▲ 6.2	0.4	産業車両	152	▲ 24.2	0.4	0.61
19業種合計	30,270	▲ 96.7		19業種合計	28,536	▲ 97.1		19業種合計	36,632	▲ 97.4		0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

- (5) 機種別動向～工作機械、ロボット等は好調、他方、録画・再生機器、電子計算機は大幅減少～
- ・伸び率上位機種は、北米、EU、中国等向け工作機械(52.3%増)、北米、EU、中国等向け産業用ロボット(45.1%増)、中国、北米、EU等向け半導体製造装置(27.2%増)、ASEAN、北米、EU等向け産業車両(24.2%増)、北米、EU、その他地域等向け陸用内燃機関(19.9%増)、北米、その他地域、EU等向け建設機械(17.2%増)、EU、中国、韓国・台湾向け等ベアリング(14.3%増)、ASEAN、中国、EU等向け原動力機械(13.9%増)、中国、韓国・台湾、ASEAN向け等繊維機械(13.3%増)、EU、中国、北米向け等分析・試験・検査機械(10.4%増)などである。一方、最も落込み幅が大きいのが、録画・再生機器(30.1%減)、電子計算機(24.9%減)、発電機(20.8%減)、電子デバイス(17.3%減)、TV(16.2%減)、乗用車(14.5%減)、ラジオ(13.8%減)、磁気カード・ディスク(10.8%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/4			2011/5			2011/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	741	54.5	工作機械	671	42.3	工作機械	821	52.3
産業用ロボット	97	53.4	建設機械	997	17.5	産業用ロボット	111	45.1
繊維機械	253	44.6	半導体製造装置	1,517	16.7	半導体製造装置	1,632	27.2
TV	93	21.3	繊維機械	206	16.2	産業車両	152	24.2
パルプ・コック	396	18.8	発電機	89	16.2	陸用内燃機関	439	19.9
ベアリング	418	16.7	産業用ロボット	79	14.4	建設機械	1,239	17.2
			ベアリング	359	13.2	ベアリング	425	14.3
			陸用内燃機関	339	11.8	原動力機械	380	13.9
			風水力機械	692	11.0	繊維機械	222	13.3
			時計	82	11.0	分析・試験・検査機	693	10.4
機種合計	1,998	6.4%	機種合計	5,031	17.1%	機種合計	6,114	16.2%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/4			2011/5			2011/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
乗用車	2,151	▲ 67.9	乗用車	3,334	▲ 41.2	録画・再生機器	16	▲ 30.1
録画・再生機器	7	▲ 59.9	デジカメ	467	▲ 30.2	電子計算機	490	▲ 24.9
デジカメ	359	▲ 54.0	電子計算機	384	▲ 28.7	発電機	88	▲ 20.8
電子計算機	394	▲ 35.7	録画・再生機器	14	▲ 23.5	電子デバイス	3,021	▲ 17.3
ラジオ	9	▲ 29.7	磁気カード・ディスク	146	▲ 21.2	TV	78	▲ 16.2
農業機械	135	▲ 23.3	農業機械	126	▲ 18.8	乗用車	6,297	▲ 14.5
機種合計	3,055	9.8%	エアコン	10	▲ 18.8	ラジオ	9	▲ 13.8
			電子デバイス	2,748	▲ 18.6	磁気カード・ディスク	180	▲ 10.8
			電池(乾・蓄電池)	306	▲ 15.4	機種合計	10,179	27.1%
			電気・電子計測器	327	▲ 10.5			
			機種合計	7,862	26.7%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

- (6) 機械輸入動向～電子計算機は減少幅拡大、航空機、電子デバイス、自動車部品は大幅減～
- ・6月の機械輸入額は2.1%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。その要因は、二大輸入機種の電子デバイスと電子計算機(14.2%減)が大幅なマイナスとなったこと、航空機、電子デバイス、自動車部品が大幅減になったことによる。一方、携帯電話(61.4%増)、重電気機械(25.5%増)、白物家電(16.6%増)は高い伸びを維持している。また、TVも地デジ対応で上昇に転じた(14.2%増)。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、エアコン、録画・再生機器、発電機、医療機器、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、中国(4.3%増)、ASEAN(0.7%減)、韓国・台湾(6.8%減)、EU(7.2%減)、北米(11.5%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/4				2011/5				2011/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,563	▲ 10.0	12.9	電子計算機	1,582	▲ 4.5	12.4	電子計算機	1,584	▲ 14.2	11.2
電子デバイス	1,338	▲ 21.1	11.0	電子デバイス	1,445	▲ 22.6	11.3	電子デバイス	1,471	▲ 21.8	10.4
重電気機械	592	▲ 5.3	4.9	重電気機械	782	26.8	6.1	重電気機械	846	25.5	6.0
乗用車	546	34.8	4.5	白物家電	607	14.5	4.8	携帯電話	780	61.4	5.5
白物家電	521	10.5	4.3	乗用車	477	▲ 2.3	3.7	白物家電	716	16.6	5.1
自動車部品	513	▲ 14.4	4.2	自動車部品	432	▲ 28.8	3.4	乗用車	552	9.8	3.9
医療機器	395	2.2	3.3	携帯電話	430	16.9	3.4	TV	527	14.2	3.7
TV	380	1.7	3.1	医療機器	409	9.6	3.2	自動車部品	477	▲ 25.8	3.4
携帯電話	346	21.1	2.9	TV	409	11.8	3.2	医療機器	397	▲ 1.0	2.8
光学機械	299	2.5	2.5	光学機械	318	10.6	2.5	光学機械	358	10.1	2.5
民生用電子部品	268	▲ 24.0	2.2	民生用電子部品	252	▲ 34.2	2.0	民生用電子部品	290	▲ 21.8	2.1
航空機	255	▲ 15.9	2.1	航空機	147	▲ 55.8	1.2	航空機	258	▲ 30.0	1.8
12機種合計	7,016		57.8	12機種合計	7,290		57.2	12機種合計	8,256		58.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械